

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	生活扶助事業	会計名称	一般会計		担当課	福祉課		
事業評価の有無	<input type="checkbox"/> 評価対象事業	予算科目	3 款 3 項 2 目	事業番号	1890	所属長名	河合 浩二	
法令根拠等	生活保護法	■ 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	米湊 明弘	
総合計画での位置付け	健康福祉都市の創造 心の通った社会福祉の推進	事業の目的				実施期間	【開始】	平成 18 年度
総合計画における本事業の役割							【終了】	平成 年度(予定) ■ 設定なし
事業の対象		評価事業としないこととした理由 生活保護法により給付基準が定められており、市に裁量の余地がないため。(国の実施を地方自治体が変わって運用し独自性が無い)						
事業の内容(整備内容)								

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	27 年度実績	28 年度予定	9月末の実績	28 年度実績
直接事業費	466,827	469,372	92,000	0	0	552,341						
財源内訳	国庫支出金	349,752	351,279	0	0	397,776						
	県支出金	3,759	3,450	0	0	4,909						
	地方債		0	0	0	0						
	その他	3,532	1,000	0	0	3,148						
	一般財源	109,784	113,643	92,000	0	0	146,508					
職員の人工(にんく)数	0.00	0.00				0.00						
1人工当たりの人件費単価	8,042	8,086				8,086						
※ 直接事業費+人件費	466,827	469,372				552,341						
主な実施主体			実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)									
向こう5年間の直接事業費の推移(千円)					29 年度	30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	5年間の合計		
										0		

事務事業評価 (CHECK)

自己判定(担当責任者)	事業の成果		
一次判定	事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する	判断の理由 最後のセイフティネットと言われる生活保護事業である。適正に運用し生活困窮者を支援していく必要がある。

二次判定	<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	⇒	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
	<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
	<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		

行政評価委員会の答申 外部評価	答申の内容

今後の方向性 (ACTION)

経営者会議 の最終判断	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	右記の点を見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を行う。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を行う。	